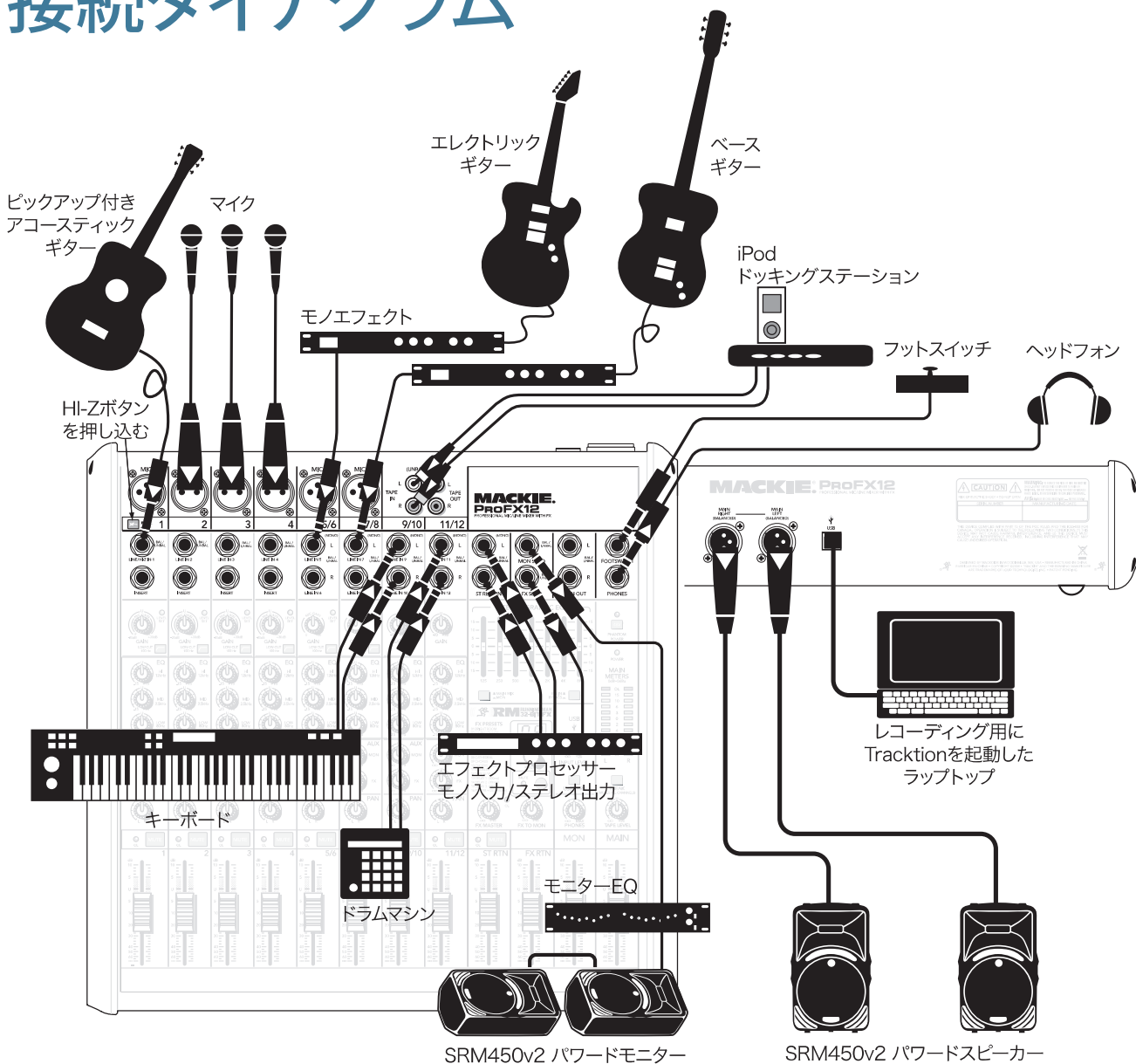


接続ダイアグラム

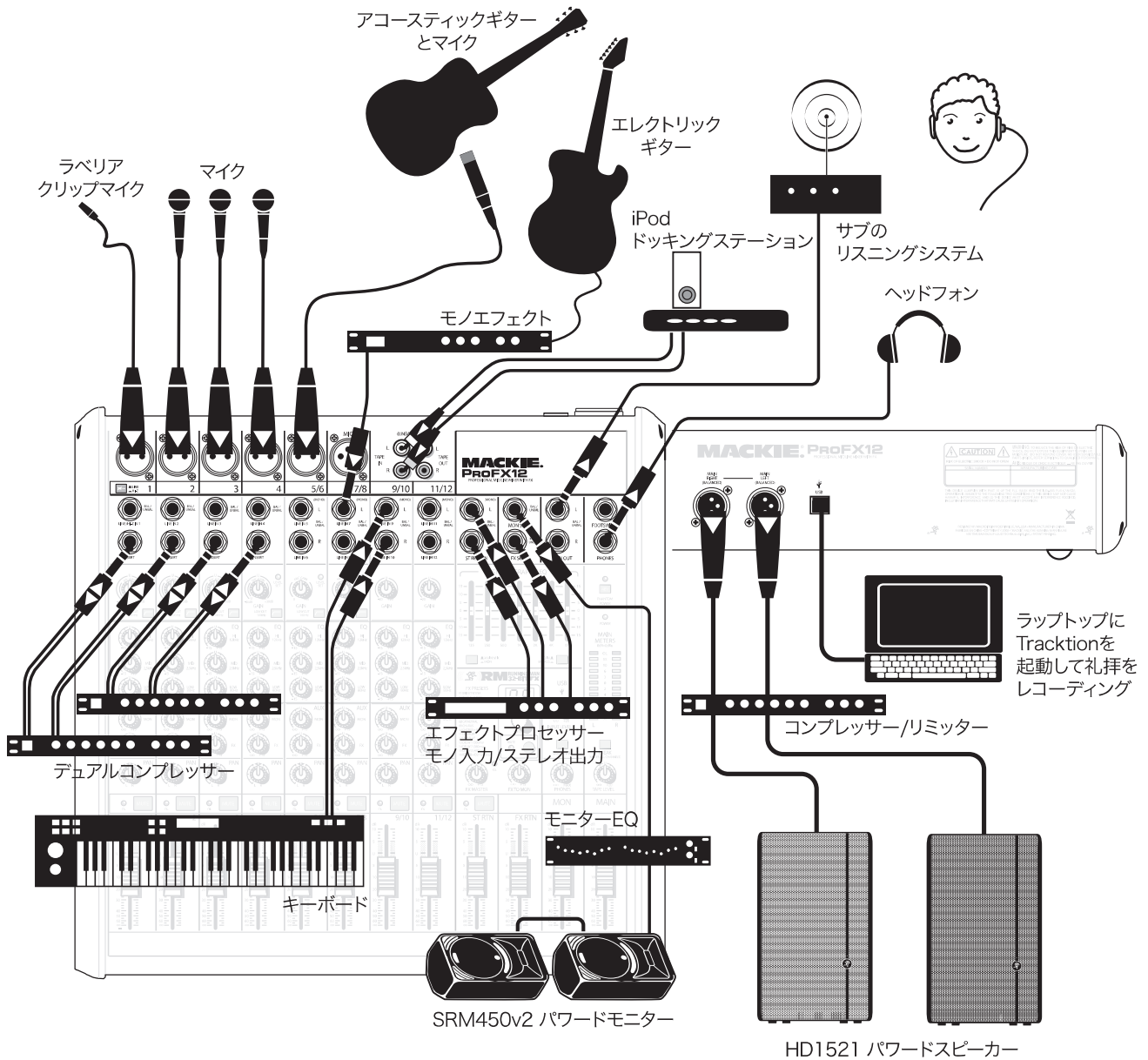


このダイアグラムでは、ギターを直接チャンネル 1 に (HI-Z スイッチを押し込んでいます)、マイクをチャンネル 2、3、4 に、ギター用エフェクトプロセッサをラインチャンネル 5/6、7/8 の左インプットに、キーボードをチャンネル 9/10 のラインレベルインプットに、ドラムマシンをチャンネル 11/12 に接続しています。また、ステレオのテープインプットには iPod ドッキングステーションが接続されています。1 台のエフェクトプロセッサが FX センドからモノシグナルを受信し、そのステレオ出力はミキサーのステレオリターン入力から戻されています。

左右のメイン出力には Mackie SRM450v2 パワースピーカーが接続されています。さらに、同じスピーカーを 2 台、ミキサーのモニター出力に接続し (外部グラフィック EQ を経由)、ステージモニターとしてセットアップしています。各チャンネルの AUX MON コントロールを操作することにより、メインミックスとは異なるステージモニターミックスを作成することが可能です。外部グラフィック EQ を操作し、ステージモニターの EQ を任意に調整してください。モニターにはヘッドフォンを使用しています。また、フットスイッチにより、内蔵エフェクトのミュートのオンオフを自在に切り替えることが可能となっています。

ラップトップが USB ポートに接続されています。パフォーマンスのメインミックス (2 チャンネル) を Traktion ソフトウェアでレコーディングすることができます。コンピュータの 2 チャンネルのオーディオをメインミックスで再生することも可能です。

ProFX12: バンド用セットアップ

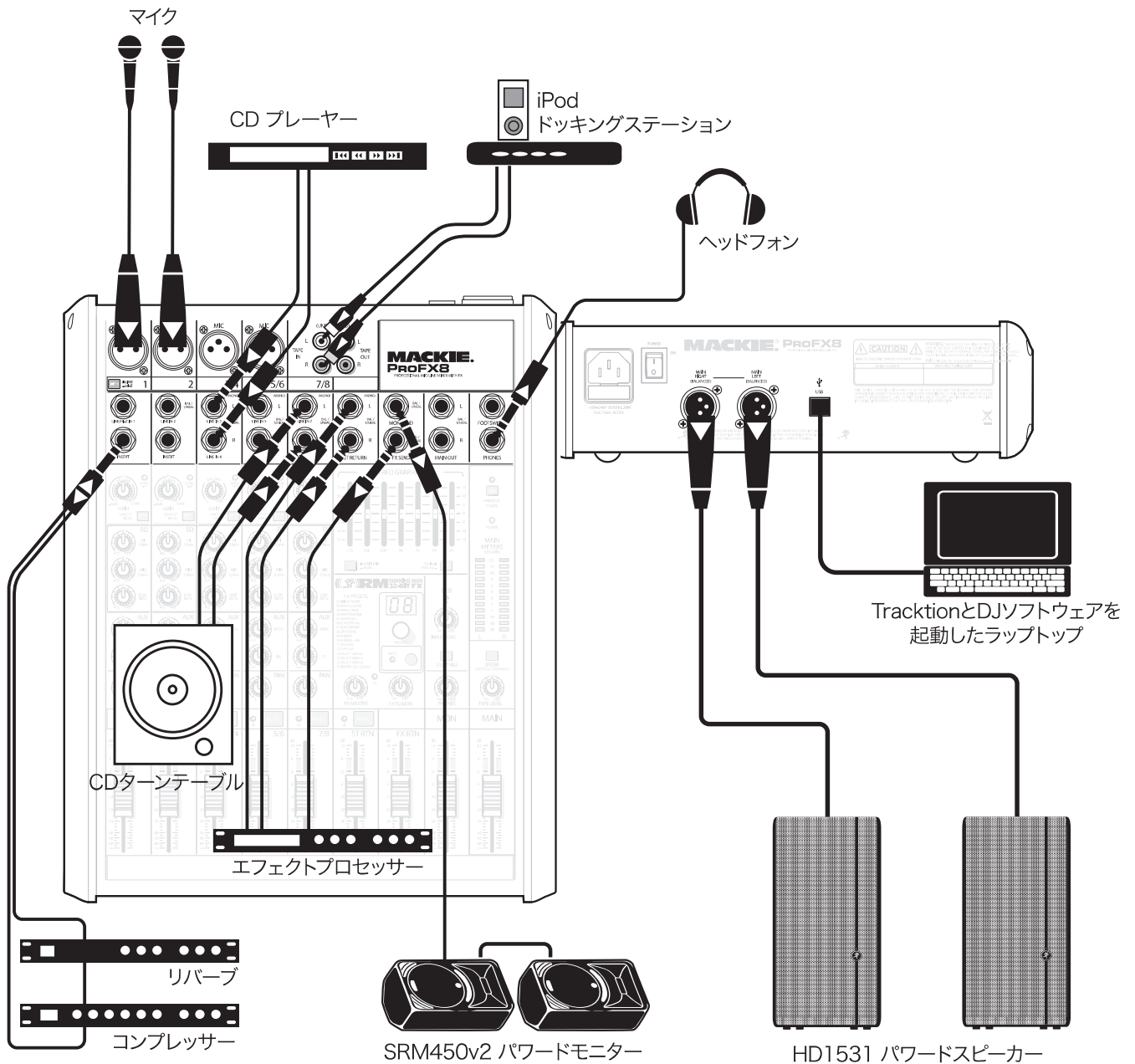


このダイアグラムでは、各種マイクをチャンネル 1-4 に、ギターマイクをチャンネル 5/6 に、ギター用エフェクトプロセッサーをラインチャンネル 7/8 の左インプットに、キーボードをチャンネル 9/10 のラインレベルインプットに、iPod ドッキングステーションをステレオのテープインプットに接続しています。1 台のエフェクトプロセッサーが FX センドからモノシグナルを受信し、そのステレオ出力はミキサーのステレオリターン入力から戻されています。サブのリスニングシステムがラインレベルのメイン出力に接続されています。ボーカルをコンプレッションするため、チャンネル 1-4 のインサートにはデュアルコンプレッサーを接続しています。

左右のメイン出力には Mackie HD1521 パワースピーカーが接続されています (外部コンプレッサー/リミッターを経由)。2 台の SRM450v2 パワースピーカーがミキサーのモニター出力に接続され (外部グラフィック EQ を経由)、ステージモニターとしてセットアップされています。各チャンネルの AUX MON コントロールを操作することにより、メインミックスとは異なるステージモニターミックスを作成することが可能です。外部グラフィック EQ を操作し、ステージモニターの EQ を任意に調整してください。モニターにはヘッドフォンを使用しています。

ラップトップが USB ポートに接続されています。礼拝のメインミックス (2 チャンネル) を Traktion ソフトウェアで録音することができます。コンピュータの 2 チャンネルのオーディオをメインミックスで再生することも可能です。

ProFX12: 礼拝堂のシステム

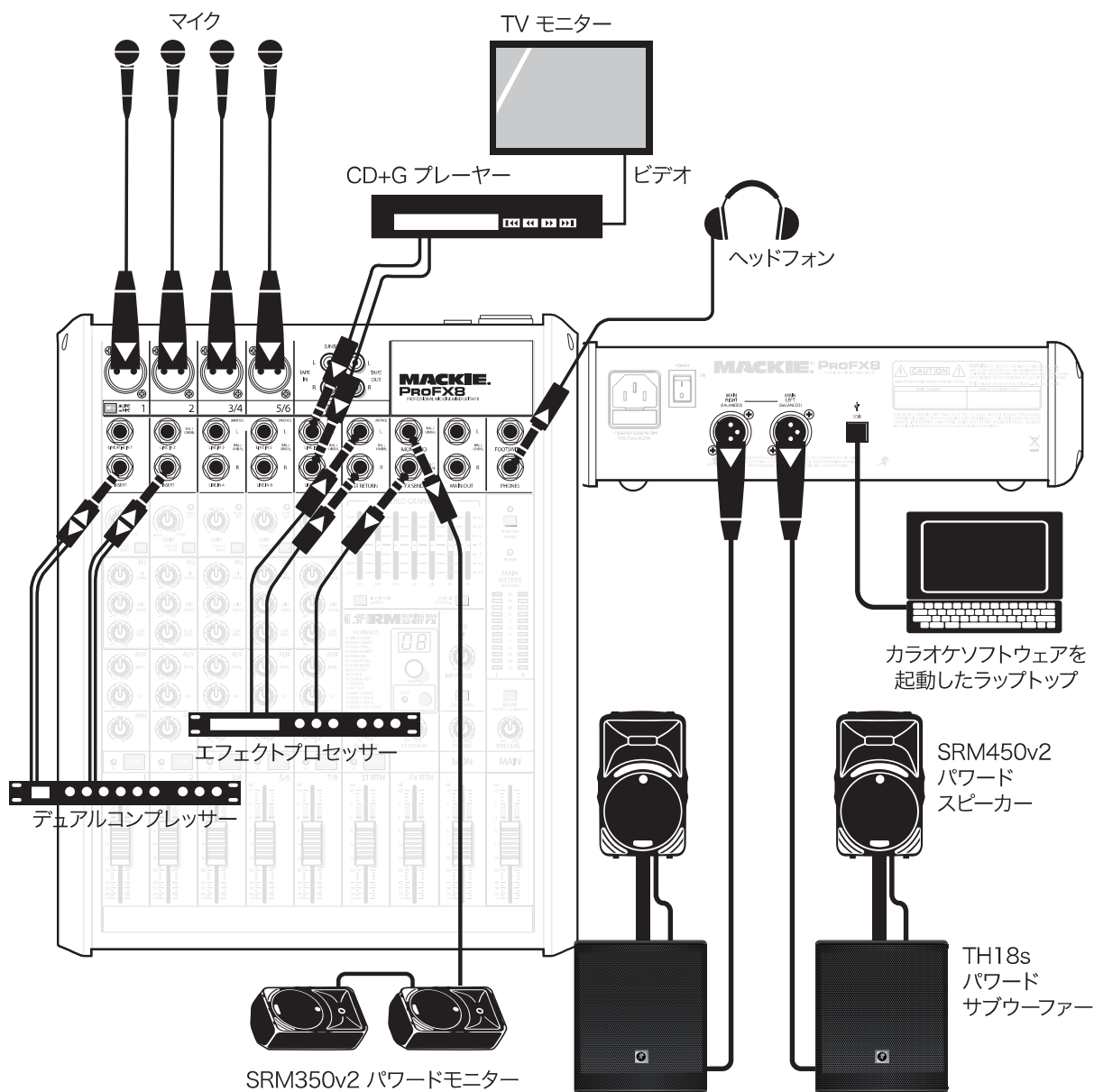


このダイアグラムでは、2本のマイクがチャンネル1と2に、CDプレーヤーがラインレベルインプットのチャンネル3/4に、CDターンテーブルがラインレベルインプットのチャンネル7/8に、iPodドッキングステーションがステレオのテープインプットに接続されています。1台のエフェクトプロセッサがFXセンドからモノシグナルを受信し、そのステレオ出力はミキサーのステレオリターン入力から戻されています。また、チャンネル1のインサートにはリバーブとコンプレッサーが接続されています。ボーカルのコンプレッションとリバーブ処理が可能です。

左右のメイン出力にはMackie HD1531パワードスピーカーが接続されています。2台のSRM450v2パワードスピーカーがミキサーのモニター出力に接続され、ステージモニターとしてセットアップされています。各チャンネルのAUX MONコントロールを操作することにより、メインミックスとは異なるステージモニターミックスを作成することが可能です。必要であれば内蔵グラフィックEQをステージモニターに切り替え、ステージモニターのEQを任意に調整してください。モニターにはヘッドフォンを使用しています。

ラップトップがUSBポートに接続されています。DJソフトウェアの2チャンネルをメインミックスで再生することが可能です。DJパフォーマンス全体をコンピュータにレコーディングすることもできます。

ProFX8: DJシステム



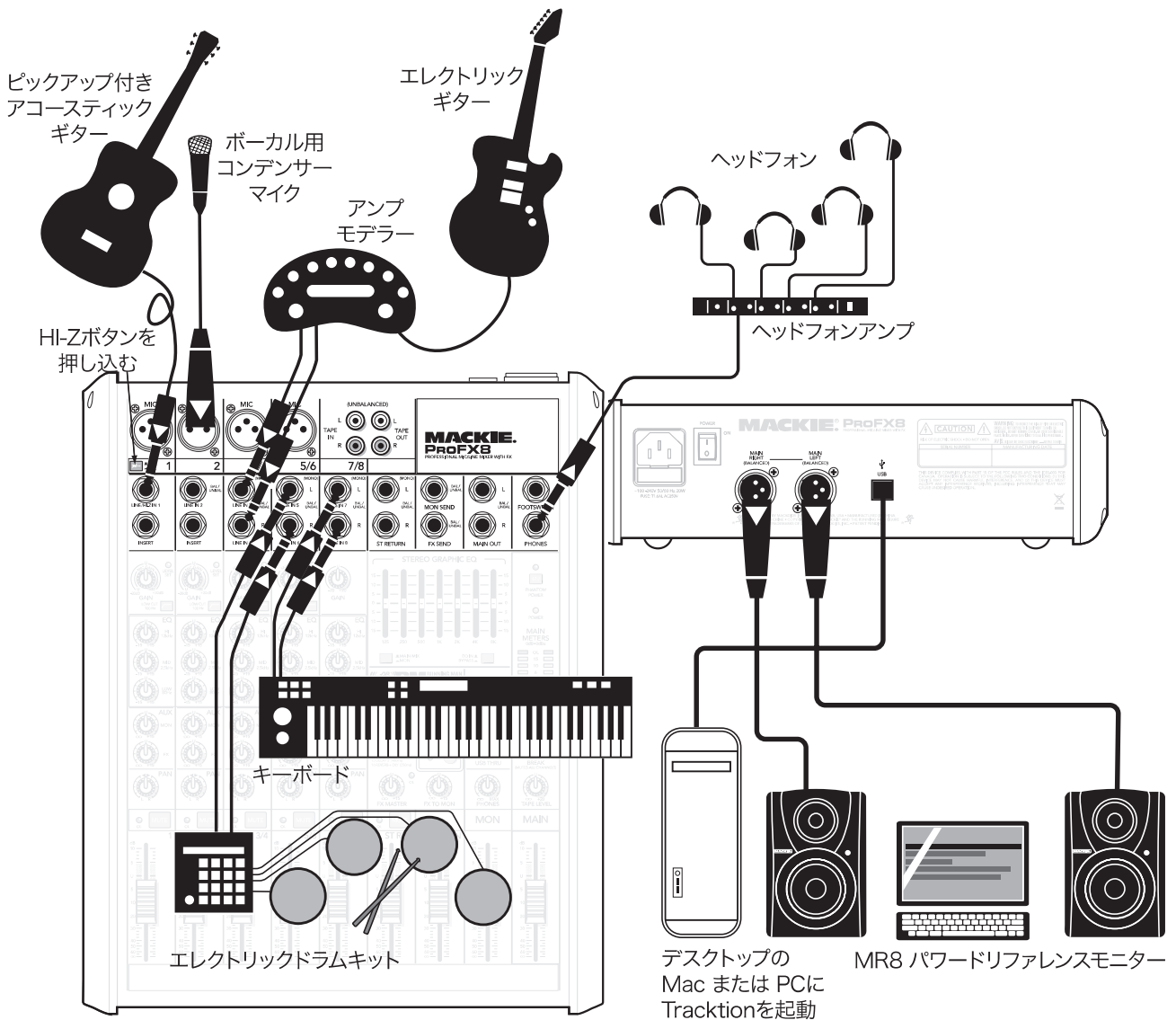
このダイアグラムでは、マイクをチャンネル 1-4 に、CD+G プレーヤーをチャンネル 7/8 のラインレベルインプットに接続しています。1 台のエフェクトプロセッサが FX センドからモノシグナルを受信し、そのステレオ出力はミキサーのステレオリターン入力から戻されています。また、チャンネル 1 と 2 のインサートにはデュアルコンプレッサーが接続されています。ボーカルのコンプレッション処理が可能です。

左右のメイン出力には Mackie SRM450v2 パワードスピーカーと TH18s パワードウーファーが接続されています。2 台の SRM450v2 パワードスピーカーがミキサーのモニター出力に接続され、ステージモニターとしてセットアップされています。各チャンネルの AUX MON コントロールを操作することにより、メインミックスとは異なるステージモニターミックスを作成することが可能です。モニターにはヘッドフォンを使用しています。

カラオケソフトウェアを起動したラップトップが USB ポートに接続されています。2 チャンネルの出力をメインミックスで再生することができます。

CD+G プレーヤーにより、カラオケの歌詞と映像が TV モニターに表示されます。

ProFX8:カラオケ用システム

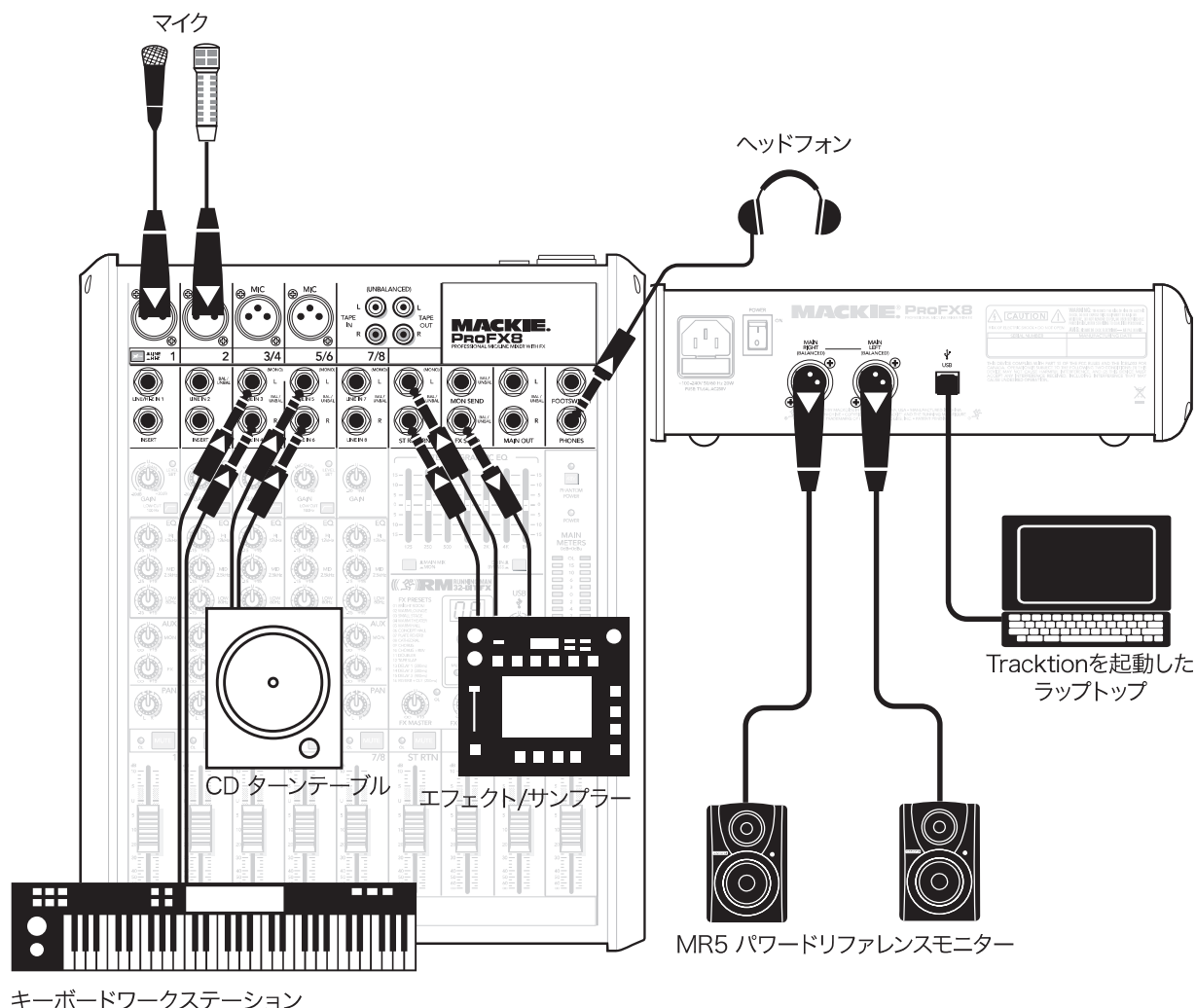


このダイアグラムでは、アコースティックギターを直接チャンネル 1 に (HI-Z スイッチを押し込んでいます)、コンデンサーマイクをチャンネル 2 のマイクインプットに、ギターのアンプモデラーをラインレベルインプット 3/4 に、エレクトリックドラムキットをチャンネル 5/6 に、キーボードをチャンネル 7/8 に接続しています。

パフォーマンスのサウンドを繊細に、そして正確に再生するため、左右のメイン出力には Mackie MR8 パワードリファレンスモニターを接続しています。

デスクトップコンピュータが USB ポートに接続されています。Traktion ソフトウェアを使用し、2 チャンネルのメインミックスをレコーディングしたり、コンピュータの 2 チャンネルのオーディオをメインミックスで再生することができます。

ProFX8: ホームスタジオ



このダイアグラムでは、マイクがチャンネル 1 と 2 のマイクインプットに、キーボードワークステーションがチャンネル 3/4 のラインレベルインプットに、CD ターンテーブルがチャンネル 5/6 のラインレベルインプットに接続されています。1 台のエフェクト/サンプラーが FX センドからモノシグナルを受信し、そのステレオ出力はミキサーのステレオリターン入力から戻されています。

作業を繊細に、そして正確にモニターするため、左右のメイン出力には Mackie MR5 パワードリファレンスモニターを接続しています。

デスクトップコンピュータが USB ポートに接続されています。Tracktion ソフトウェアを使用し、2 チャンネルのメインミックスをレコーディングしたり、コンピュータの 2 チャンネルのオーディオをメインミックスで再生することができます。

ProFX8:ポッドキャスト用システム